



ほけんたいり4月号

令和2年度

社会福祉法人雲石保育園保健室



知っておこう！ 子どもの健康管理

子どもの健康管理の基本は、「いつもと違う状態」に気づくこと。そのためには、「いつもの状態」を把握しておくことが、たいせつです。つねに子どものようすに気を配り、何か変化や異常が見られたとき、適切な対応ができるようにしていきましょう。

毎朝の体調チェック！

園では毎朝、登園してきた子どもたちの健康観察を行っています。ご家庭でも、登園前など、次のようなポイントで、体調チェックを行ってみてください。



今年は暖冬といわれたせいかな春の訪れが例年より早いように感じます。入園された皆さま、進級をされた皆さまおめでとうございます。健康面でサポートをさせていただきます。看護師の袖林典子です。1年間よろしくお願いいたします。

★きげんは？★

いつもより元気がない、「おはよう」のあいさつもうつむきがちなど、いつもと違うようすが見られたら、要注意。体調が悪いためか、心理的なものなのか、原因を探りましょう。

★肌の状態は？★

いつもない発しんが見られたら、検温し、熱があれば病院へ。また、そのときはやっている感染症があれば、特に注意して症状を確認しましょう。

★顔色・表情は？★

顔が赤い、青白いといった場合は、発熱していたり、体調を崩していたりすることが多いので、検温してみましょう。

★便や尿のようすは？★

毎朝、排便の確認をしましょう。また、トイレに行く前につらそうな表情をしたり、何度も行く、時間がかかる、という場合は、いっしょにトイレに行き、状態を確認しましょう。

★熱、せきは？★

顔がほてっている、手が熱いという場合は検温を。せきだけで、熱がなく元気なときは、しばらくようすを見ます。

★体の動きは？★

いつもと比べて、足取りが重い、だるそう、というときは、子どもにどこかくあいが悪いのか、聞いてみましょう。ことばで訴えることのできない子どもの場合は、検温などひととおり体調をチェックしたうえで、その日1日注意して見守るようにします。

★子どものことばは？★

「気持ち悪い」「疲れた」「眠い」「寒い」「暑い」といったことばが聞かれたら、熱を測り、ようすを観察します。少したってから熱が上がることもあるので、しばらく激しい動きを控えたほうがよいでしょう。

お願い

1 お薬を持参する場合は、くすりの連絡票を添えて、1回分（シロップは1×モリ分を、粉薬は1包をジップロックに入れクラス名、氏名を記入の上、玄関の保育士に手渡ししてください。

2 本誌の健康観察のポイントを参考に毎日の健康観察をお願いいたします。